

■取組の詳細内容

(1) 民間活動促進事業

①中小製造業の振興

- 企業訪問 80件以上【行動指標（必達目標）】
- 新たな取組のサポート 3件以上【成果指標（努力目標）】

【取組結果】

- 企業訪問件数は77件。
- 新たな取組のサポートについては3件。
 - ① 大阪商工会議所等が主催した Motto Kansai with 日立造船（オープン・イノベーション・マッチング）を紹介。
→説明会参加後エントリーし、日立造船の子会社と面会。
 - ② はじめて新卒社員を迎える企業に対し、商工会議所の「新入社員研修」を紹介。→3名の新入社員分を申し込み、4月に受講予定。
 - ③ 国の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を市内企業に紹介。→1社が申し込みを決め、申請準備中。
- 今年に入ってから、今後の支援施策検討の参考とするため、聴き取りでのアンケート調査を実施している。

【分析内容】

- 企業訪問による状況と支援ニーズの把握はもちろん、リアルタイムに情報が提供できるメールは有効。
- どの企業にどの情報を送るかの選別もできる、企業データベースの構築が課題。

②地元農産物の活用促進

- 農業者・商業者訪問 10件以上【行動指標】
- 農産物を活用した新商品の開発支援 3件以上【成果指標】

【取組結果】

- 農業者・商業者の訪問は、農業者1件、商業者37件
- 農産物を活用した新商品の開発支援は、スイーツフェアの開催により、19件（17店）のさつまいもスイーツの新商品が開発された。

【分析内容】

- スイーツフェアによりたくさんの新商品が生み出された。
- 課題としては、①さつまいもに関しては需要開拓と地元産の供給力のバランス、②さつまいも以外の地元農産物の活用、があげられる。

- 1) 農業者の訪問
 - ・市内の専業農家を訪問し、市内農業者の状況や農産物流通の可能性について聴き取った。
- 2) 商業者の訪問
 - ・市内の製菓店 37 店を訪問し、茨木スイーツフェアへの参加を働きかけた。
- 3) 農産物を活用した新商品の開発支援が 19 件（17 店）
 - ・スイーツフェアの開催を契機に 17 店（蔦屋、シュエット、ちとせ（2 種）、寿屋餅店、サロン・ド・テ・ジャマン、らんらん、フロresta 阪急茨木店、石州、ラッキードーナツ茨木（2 種）、ル・クラフティ、聖磁堂、ボン・ネージュ、幸春、ほづみ、Operetta、茨木やまぢ、ティコラッテパティスリー茨木店）が新商品を開発した。3/3～24 まで販売。
 - ・茨木産のさつまいもを原料にしたいというニーズは出てきたが、供給量の制約でごく限定的な採用にとどまった。品質面の向上も必要である。

③地域産業資源の魅力発信

- 民間プロジェクトの支援 1 件【行動指標】
- 情報誌「いばらきさん」の発行 2 回【成果指標】

【取組結果】

- アドバイザーの派遣や補助金の交付などを通じて、冊子の発行など茨産研究会の活動を支援した。
- 10月に「いばらきさん」の第1号を発行し、第2号は年度内の発行に向けて編集作業中
- 他に、スイーツフェアの実施により、市内の製菓店とその商品の魅力をアピールすることができた。

【分析内容】

- 茨産研究会については、実施体制と資金調達の筋道が整った。
- デザイン等担当の技術系メンバーが不足気味で、作業の分散が課題。
- スイーツフェアのような市直営の情報発信が効果的で、強化が課題。

- 1) 茨産研究会への支援
 - ・茨木市産業活性化プロジェクト促進事業補助の一次募集（5月）に、「いばらきさんプロジェクト」が採択。
 - ・「いばらきさん」の広告主やサポーターは、大学や金融機関をはじめ、事業者や市民まで順調に集まっている。
- 2) 市独自の情報発信
 - ・専用ホームページやスイーツラリーマップで、市内の製菓店と商品をアピールした。
 - ・また、スイーツフェアの開催では、協力機関の J : COM、シティライフという地域メディアが、それぞれケーブルテレビ番組「北摂シティライフ」や、「シティライフ」で情報発信を行った。

④民間プロジェクトの支援

- プロジェクト創出会議の開催 4回【行動指標】
- 新規プロジェクトの立ち上げ支援 2件以上【成果指標】

【取組結果】

- 2/14に第4回のプロジェクト創出会議を開催。
- 新規プロジェクトの提案は8件あったが、プロジェクトの立ち上げ支援はなし。
- 12/9に第2回ヴィンテージカーショーを開催。
- 宙いもプロジェクトは地域の各種イベントにさつまいも関連商品の販売で出店するとともに、店舗サポーターや市民サポーターを募集することで茨木産さつまいものPRを始めている。

【分析内容】

- 民間プロジェクトの情報交換や出会いの場として、プロジェクト創出会議は定着。
- すでに実行委員会のあるイベントなどは新規で開催されたが、その他の新規プロジェクトは提案があったものの、立ち上げに至らないのが課題。

1) プロジェクト創出会議での提案

(第1回)

- ・ダンスイベント「突然マイケル・ジャクソン」
- ・音楽とクラフトビールのイベント「茨木麦音フェスト」
- ・まちバルイベント「LOVEHOLIC」

(第2回)

- ・まちバルイベント「バルフェスタいばらき 2012」
- ・CSA（地域に支えられた農業）
- ・北辰中学校における芸術イベント

(第4回)

- ・River Lovers ～安威川河川敷への植樹活動～
- ・「モトイバ アートツアー」

2) ヴィンテージカーショー

- ・中央公園北グラウンドに加え、南グラウンドにエリアを広げ、飲食の出店も拡大。

3) 宙いもプロジェクト

- ・24年度の追手門学院大学に続き、25年度からは梅花女子大学も参画を予定。

(2) ビジネス交流会事業

- 「ビジネス交流サロン」開催 6回以上【行動指標】
- サロンから派生する連携 4件以上【成果指標】

【取組結果】

- ビジネス交流サロンを6回開催。製造をテーマに3回、産学官連携をテーマに2回、クリエイティブをテーマに1回開催した。
- サロンから派生する連携は2件。
民間プロジェクトと大学との連携であり、製造業に関する直接的な連携は生まれていない。

【分析内容】

- 毎回参加する参加者が生まれている。
- 金融機関やその他支援機関にも参加者が広がっており、今後の具体的な支援に期待が持てる。
- 課題は、連携の促進と新規参加者の増加である。

1) ビジネス交流サロンの開催状況

- ・第4回：5/23 開催、参加者：42名
「効くアピール方法は「デザインと編集」にある」
講師：aun creative firm 代表・デザイナー（茨木市在住）
- ・第5回：8/22 開催、参加者：28名
「わが社の事業革新～町工場の挑戦～」
講師：枚岡合金工具（株）代表取締役社長
- ・第6回：10/17 開催、参加者：12名
「タイの工業団地への中小企業の進出と国内へのインパクトについて」
講師：公益財団法人大田区産業振興協会 専務理事
- ・第7回：11/15 開催、参加者：23名
「高校生レストランの仕掛け人が語る
～地域にあるものを活かして、新しいビジネスをつくりだす～」
講師：三重県多気町 まちの宝創造特命監
- ・第8回：1/24 開催、参加者：13名
「研究分野は加工技術を求めている」
講師：（株）アイワークス 代表取締役
- ・第9回：3/13 開催、参加者：28名
「自社の加工技術を、展示会で売り込むコツ」
講師：リード エグジビション ジャパン（株） 第1事業部課長

2) サロンから派生した連携

- ・第7回のサロンをきっかけに、宙いもプロジェクトや茨産研究会と追手門大学・梅花女子大学とが連携してプロジェクトを進めることとなった。
- ・金型・自動車部品産業関連の企業が集まり、取引状況や景況感などの情報交換が始まった。
- ・医療機器開発に関心を示した市内企業と大阪府バイオ振興課を、第9回サロンで引き合わせ、今後、市内企業を中心とした医療機器に関する情報交換等の機会を持つことにした。

(3) ブランド推進事業

- スイーツフェアの開催 1回【行動指標】
- スイーツフェア参画店数（即売会、コンテスト等） 20店舗以上【成果指標】
- ブランドとなり得る商品の選定・創出件数 5件以上【成果指標】

【取組結果】

- 3/3～24にスイーツフェアを開催。梅花女子大学、シティライフ、J:COMと協力しながら進めた。
- スイーツフェアには25店舗が参加。
- さつまいもを使った新商品19点が創出された。

【分析内容】

- 参加店からの反響も大きく、市内製菓店とその商品をPRし、認知度を高めるという取組の主たる目的は達成できた。
- 課題は、来年度以降への取組の継続・発展や、農産物の活用促進などである。

1) スイーツフェアの開催

- ・企画会議で、参加店が自店舗で参加でき、その後の販売促進につながる企画として、スイーツラリーの開催を検討した。
- ・スイーツラリー参加 25店中、とくに中心部から離れた商店から「参加してよかった」と評価が高い。さつまいもを使った新作スイーツにも17店が取り組んだ。
- ・市民スイーツコンテストには46件の応募があった。市民審査員にも定員50人に対して約200人の応募があり、注目度は高かった。マップは増刷分を含め5,000部を印刷したが、不足気味だったので、専用のホームページからのダウンロードも用意した。
- ・3店舗以上で対象商品を購入した人に、抽選でプレゼントするスイーツラリーの応募も多い（3/31の締切に向けて集計中）。
- ・梅花女子大学での販売イベントには12店が参加。

(4) アクションプラン推進事業

- 「産業振興アクションプラン推進委員会」開催 3回【行動指標】

【取組結果】

- 3/26に第3回アクションプラン推進委員会を開催。
- 補助金応募案件評価部会で産業活性化プロジェクト促進事業補助を5件採択。

【分析内容】

- 民間プロジェクトの支援や市直営事業の実施が円滑に進んだ。
- 来年度は委員会の議論をさらに充実させて、PDCAサイクルでの施策・事業の管理強化を図る。